

埼玉県地域医療構想推進のための病院アンケート調査について

調査の背景 二次医療圏単位で設置した地域医療構想調整会議の議論の中で、回復期病床について急性期病院からは「不足感」が、回復期病院からは「充足感」が意見として出されており、医療連携におけるミスマッチの可能性がうかがえます。

また、今後、同会議において在宅医療や介護との連携についても議論を深める必要があります。

調査の目的 各二次医療圏の疾病ごとの医療機能の分化と連携状況の課題を把握することを目的とします。課題把握の着眼点は次のとおりです。

- ・ 各病院の現状と2025年に向けた方向性
- ・ 各病院が主要疾患について、高度急性期・急性期・回復期・慢性期・在宅医療のどの役割を担っているのか
- ・ 主要疾患について、各役割を担う病院間の患者の流れの阻害要因は何か
- ・ 在宅患者の受入れに当たっての阻害要因は何か

調査の対象 令和元年6月1日時点で一般病床または療養病床を有する埼玉県内の病院を対象とします（有床診療所は対象外です）。

調査対象の期間 平成30年度病床機能報告の対象期間（平成29年7月1日から平成30年6月30日の1年間）と同様とします。同期間中に機能の転換を行った場合、転換前と転換後の両方の機能についてお答えください。

調査の項目 調査項目は1から10まであります。
項目1（病院の基本情報）、項目2（病院の医療機能と地域連携の現状と今後の方針）、項目3（主要疾患・事業等への対応の現状と今後の方針）は、全ての病院がお答えください。
項目4から項目10は、担っている疾患や医療機能に応じて、該当する項目をお答えください。

回答の方法 電子メールによる回答にご協力をお願いします。

回答票の電子データは、平成30年度病床機能報告の報告様式1基本票または報告サイトに登録されたメールアドレスあてに送付しています。

送信元【埼玉県保健医療政策課（企画・構想担当13）】のメールアドレス（a3510-13@pref.saitama.lg.jp）へ、回答票のデータを添付して返信してください。

平成30年度病床機能報告においてメールアドレスを登録していない場合や、登録されたアドレスが廃止されている場合には、お手数ですが担当あてご連絡をください。ご指定のメールアドレスへ改めて回答票の電子データを送付します。

なお、郵送による回答を希望される場合は、返信用封筒をお送りしますので、担当あてご連絡ください。

回答の期限 令和元年8月7日（水）までに回答をお願いします。

調査結果の活用 二次医療圏ごとに集計、公表し、地域医療構想調整会議での課題解決に向けた議論に活用します。（公表に際して、回答いただいた病院が特定されるような方法はありません）

担当 埼玉県保健医療部保健医療政策課
 企画・構想担当 飯澤・片岡
 電話 048-830-3526（直通）
 e-mail a3510-13@pref.saitama.lg.jp

埼玉県地域医療構想推進のための病院アンケート調査

1 病院の基本情報 (平成30年7月1日時点)

項番	項目		回答	留意事項
1	医療機関名	(1)		届出の正式名称
2	開設主体	(2)		選択肢から選択 (紙による回答の場合※1参照)
3	二次医療圏	(3)		選択肢から選択 ※2 (紙による回答の場合※2参照)
4	所在市町村	(4)		市町村名のみ
5	許可病床数合計	(5)	0 床	自動計算 (紙による回答の場合、要記入)
6	一般病床	(6)		床 該当病床がない場合は「0」
7	療養病床	(7)	0 床	自動計算 (紙による回答の場合、要記入)
8	うち医療療養病床	(8)		床 該当病床がない場合は「0」
9	うち介護療養病床	(9)		床 該当病床がない場合は「0」
10	精神病床	(10)		床 該当病床がない場合は「0」
11	感染症病床	(11)		床 該当病床がない場合は「0」
12	結核病床	(12)		床 該当病床がない場合は「0」

※1 1:独)国立病院機構,2:国立大学法人,3:独)地域医療機能推進機構,4:その他(国),5:都道府県,6:市町村,
7:地方独立行政法人,8:日赤,9:済生会,10:医療法人,11:公益法人,12:私立学校法人,13:社会福祉法人,
14:医療生協,15:その他の法人,16:個人

※2 01:南部,02:南西部,03:東部,04:さいたま,05:県央,06:川越比企,07:西部,08:利根,09:北部,10:秩父

【付随調査】

(1) 平成30年度病床機能報告(報告期限 平成31年1月18日)の医療機関IDを記載してください。

項番	項目		回答	留意事項
1	平成30年度病床機能報告医療機関ID	(13)		111または211から始まる8桁

※医療機関IDが不明な場合は空欄としてください。

(2) 病床機能報告の4機能(高度急性期、急性期、回復期、慢性期)について、埼玉県が独自に定量的な基準を設定して分析を行っていることを御存知ですか。

「知っている」又は「知らない」のいずれかでお答えください。

項番	項目		回答
2	定量基準について	(14)	

※病床機能報告における定量基準については、以下の県Webページを御参照ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/byoshokinou.html>

(3) 上記(2)で「知っている」を選択した場合、平成30年度病床機能報告で病床機能の4機能(高度急性期、急性期、回復期、慢性期)を選択する際に当該基準を参考にしましたか。

「参考にした」又は「参考にしていない」のいずれかでお答えください。

項番	項目		回答
3	4機能選択の際の参考	(15)	

埼玉県地域医療構想推進のための病院アンケート調査

2 病院の医療機能と地域連携の現状と今後の方針

(1) 地域において貴院が担う医療機能の現状と今後の方針はどのようなですか。

該当する項番に「○」を記入してください。(複数選択可)

項番	選択肢	現状		2025年方針	
		平成30年7月1日時点			
1	高度急性期医療（主に全身麻酔を伴う手術やICU・HCU等の集中治療を提供する機能）	(16)		(17)	
2	幅広い手術等の治療に対応する急性期医療を提供する機能	(18)		(19)	
3	在宅や介護施設等において症状が急性増悪した患者（サブアキュート）の受入れ機能	(20)		(21)	
4	急性期経過後に引き続き入院医療を要する患者（ポストアキュート）の受入れ機能	(22)		(23)	
5	回復期リハビリテーション医療を提供する機能	(24)		(25)	
6	慢性期医療（難病等のほか長期療養を支える機能）	(26)		(27)	
7	訪問診療・訪問看護	(28)		(29)	

(2) 地域医療連携の現状と今後の方針はどのようなですか。

該当する項番に「○」を記入してください。(複数選択可)

項番	選択肢	現状		2025年方針	
		平成30年7月1日時点			
1	入退院支援部門（地域医療連携室等）の設置	(30)		(31)	
2	入退院支援の専従又は専任職員の配置	(32)		(33)	
3	入退院支援加算1の算定	(34)		(35)	
4	入退院支援加算2の算定	(36)		(37)	

(3) 地域医療連携室等を設置している場合、職種の構成はどのようなですか。

該当する項番に「○」を記入してください。(複数選択可)

項番	選択肢	専従・専任		兼務	
		平成30年7月1日時点			
1	医師	(38)		(39)	
2	看護師	(40)		(41)	
3	医療ソーシャルワーカー	(42)		(43)	
4	事務職	(44)		(45)	
5	その他の職種（次の欄に具体的な職種を記載してください）↓	(46)			
6					

埼玉県地域医療構想推進のための病院アンケート調査

3 主要疾患・事業等への対応の現状と今後の方針

(1) 主要疾患への対応について、貴院が担う役割の現状と今後の方針はどのようなですか。

該当する項番に「○」を記入してください。(複数選択可)

項番	①がんへの対応	現状		2025年方針	
		平成30年7月1日時点			
1	がん診療連携拠点病院（国指定）	(47)		(48)	
2	がん診療指定病院（県指定）	(49)		(50)	
3	上記以外でのがん診療（手術療法・放射線療法・化学療法）	(51)		(52)	
4	緩和ケア（入院）	(53)		(54)	
項番	②脳卒中への対応	現状		2025年方針	
		平成30年7月1日時点			
1	脳出血等への手術や血管内治療の機能（急性期）	(55)		(56)	
2	脳梗塞へのt-PA療法や血栓回収療法等の救急医療の機能（急性期）	(57)		(58)	
3	身体機能を回復させるリハビリテーション機能（回復期）	(59)		(60)	
4	日常生活への復帰・維持のリハビリテーション機能（維持期）	(61)		(62)	
項番	③急性心筋梗塞や心不全等の心血管疾患への対応	現状		2025年方針	
		平成30年7月1日時点			
1	救急医療の機能（急性期）	(63)		(64)	
2	身体機能を回復させる心臓リハビリテーション機能（回復期）	(65)		(66)	
3	日常生活への復帰・維持のリハビリテーション機能（維持期）	(67)		(68)	
項番	④糖尿病への対応	現状		2025年方針	
		平成30年7月1日時点			
1	急性増悪時治療（劇症1型糖尿病、急性合併症等）の機能	(69)		(70)	
2	糖尿病専門治療の機能	(71)		(72)	
3	糖尿病の慢性合併症治療の機能	(73)		(74)	
項番	⑤整形外科治療への対応	現状		2025年方針	
		平成30年7月1日時点			
1	整形外科（大腿骨頸部骨折）手術等の機能（急性期）	(75)		(76)	
2	整形外科（大腿骨頸部骨折を除く）手術等の機能（急性期）	(77)		(78)	
3	身体機能を回復させるリハビリテーション機能（回復期）	(79)		(80)	
4	日常生活への復帰・維持のリハビリテーション機能（維持期）	(81)		(82)	

(2) 主要事業への対応について、貴院が担う役割の現状と今後の方針はどのようなですか。

該当する項番に「○」を記入してください。(複数選択可)

項番	救急・災害・周産期・小児・在宅医療への対応	現状		2025年方針	
		平成30年7月1日時点			
1	高度救命救急センター	(83)		(84)	
2	救命救急センター	(85)		(86)	
3	救急告示病院	(87)		(88)	
4	災害拠点病院	(89)		(90)	
5	周産期母子医療センター	(91)		(92)	
6	分娩取扱施設	(93)		(94)	
7	小児救命救急センター	(95)		(96)	
8	上記以外での小児入院対応	(97)		(98)	
9	在宅療養支援病院	(99)		(100)	
10	在宅療養後方支援病院	(101)		(102)	

埼玉県地域医療構想推進のための病院アンケート調査

「3(1)②脳卒中への対応」で「急性期」を選択した病院にお尋ねします。

4 脳卒中【急性期】治療の連携状況と課題

(1) 貴院の脳卒中治療後の患者の回復期病院等への転院先の割合※はどの程度ですか。

項番	選択肢	回答
1	圏域内の他回復期医療機関へ転院 (103)	%
2	圏域外の他回復期医療機関へ転院 (104)	%
3	自院の回復期リハビリテーション病棟へ転棟 (105)	%
4	自院の地域包括ケア病棟(病床)へ転棟 (106)	%
5	介護老人保健施設等の介護保険施設への入所 (107)	%
6	自宅等への退院 (108)	%
7	その他 (109)	%
8	転院先等に関するデータは管理していない (110)	

※(割合) = (退院先別の患者数) ÷ (退院支援・調整を行った総患者数) を基本とした概ねの数

※転院先等に関する割合を把握していない場合は「項番8」で「○」を記入してください。

(2) 上記(1)の回答のうち「他の回復期医療機関への転院」の場合、初回の相談から受入れまでの平均待機日数はどの程度ですか。該当する項番に「○」を記入してください。

【回復期リハビリテーション病棟への転院の場合】

項番	選択肢	回答
1	0日～3日 (111)	
2	4日～7日 (112)	
3	8日～14日 (113)	
4	15日以上 (114)	

【回復期リハビリテーション病棟以外の病棟への転院の場合】

項番	選択肢	回答
1	0日～3日 (115)	
2	4日～7日 (116)	
3	8日～14日 (117)	
4	15日以上 (118)	

(3) 脳卒中治療後、転院先との受入れ調整で受け入れられなかった理由は何ですか。

【調査対象期間（平成29年7月1日～平成30年6月30日）の状況を基にお答えください。】

項番	選択肢	回答
1	転院先医療機関が満床であるため (119)	
2	転院先の病院が遠方であるなどにより、家族との調整が整わないため (120)	
3	医療費支払が困難、単身・独居など社会的な理由があるため (121)	
4	合併症・併存疾患の治療等により、入院から退院までに60日以上を要するため (122)	
5	医学的管理（専門リハ、四肢麻痺等、高価な内服薬、内科疾患）が困難であるため (123)	
6	精神疾患（認知症症状を除く）への対応が困難であるため (124)	
7	認知症症状への対応が困難であるため (125)	
8	病室を性別で区分しており、転院者の性別が病室の空き状況と合致しないため (126)	
9	その他の理由（次の欄に具体的な理由を記載してください） ↓ (127)	
10		

回答内容の目安

- ◎→受け入れられなかった事例の中では最も多い理由である
- 受け入れられなかった事例の中ではよくある理由である
- △→受け入れられなかった事例の中ではまれにある理由である
- ×→当該事項を理由に受け入れられなかったことはない

(4) 脳卒中治療後の転院先の回復期医療機関に望むことはどのようなことですか。（自由記述）

項番	回答	(128)
1		

(5) 貴院の脳卒中患者の具体的な回復期の連携先医療機関等について3つまで記載してください。

項番	回答	
1		(129)
2		(130)
3		(131)

埼玉県地域医療構想推進のための病院アンケート調査

「3（1）②脳卒中への対応」で「回復期」を選択した病院のうち「回復期リハビリテーション病棟」を有する病院にお尋ねします。

5 脳卒中【回復期】治療の連携状況と課題

（1）貴院の脳卒中の急性期治療後の患者の転院元の医療機関等の割合※はどの程度ですか。

項番	選択肢	回答
1	圏域内の他の急性期医療機関からの受入れ (132)	%
2	圏域外の他の急性期医療機関からの受入れ (133)	%
3	自院の急性期病棟等からの転棟 (134)	%
4	その他 (135)	%
5	転院元等に関するデータは管理していない (136)	

※（割合）＝（転院元別の患者数）÷（入院支援・調整を行った総患者数）を基本とした概ねの数

※転院元等に関する割合を把握していない場合は「項番5」で「○」を選択してください。

（2）上記（1）の回答のうち「他の急性期医療機関からの受入れ」の場合、初回の相談から受入れまでの平均待機日数はどの程度ですか。該当する項番に「○」を記入してください。

【回復期リハビリテーション病棟への受入れの場合】

項番	選択肢	回答
1	0日～3日 (137)	
2	4日～7日 (138)	
3	8日～14日 (139)	
4	15日以上 (140)	

【回復期リハビリテーション病棟以外の病棟への受入れの場合】

項番	選択肢	回答
1	0日～3日 (141)	
2	4日～7日 (142)	
3	8日～14日 (143)	
4	15日以上 (144)	

(3) 脳卒中の急性期治療後、転院元との受け入れ調整で受け入れできなかった理由は何ですか。

【調査対象期間（平成29年7月1日～平成30年6月30日）の状況を基にお答えください。】

項番	選択肢	回答
1	自院が満床であるため (145)	
2	転院元から自院が遠方であるなどにより、家族との調整が整わないため (146)	
3	医療費支払が困難、単身・独居など社会的な理由があるため (147)	
4	合併症・併存疾患の治療等により、入院から退院までに60日以上を要するため (148)	
5	医学的管理（専門リハ、四肢麻痺等、高価な内服薬、内科疾患）が困難であるため (149)	
6	精神疾患（認知症症状を除く）への対応が困難であるため (150)	
7	認知症症状への対応が困難であるため (151)	
8	病室を性別で区分しており、転院者の性別が病室の空き状況と合致しないため (152)	
9	その他の理由（次の欄に具体的な理由を記載してください） ↓ (153)	
10		

回答内容の目安

- ◎→受け入れできなかった事例の中では最も多い理由である
- 受け入れできなかった事例の中ではよくある理由である
- △→受け入れできなかった事例の中ではまれにある理由である
- ×→当該事項を理由に受け入れできなかったことはない

(4) 脳卒中治療後の転院元の急性期医療機関に望むことはどのようなことですか。（自由記述）

項番	回答	(154)
1		

(5) 貴院の脳卒中患者の具体的な急性期の連携先医療機関等について3つまで記載してください。

項番	回答	
1		(155)
2		(156)
3		(157)

埼玉県地域医療構想推進のための病院アンケート調査

「3(1)③急性心筋梗塞や心不全等の心血管疾患への対応」で「急性期」を選択した病院にお尋ねします。

6 心血管疾患【急性期】治療の連携状況と課題

(1) 貴院の心血管疾患治療後の患者の回復期病院等への転院先の割合※はどの程度ですか。

項番	選択肢	回答
1	圏域内の他回復期医療機関へ転院 (158)	%
2	圏域外の他回復期医療機関へ転院 (159)	%
3	自院の回復期リハビリテーション病棟へ転棟 (160)	%
4	自院の地域包括ケア病棟(病床)へ転棟 (161)	%
5	介護老人保健施設等の介護保険施設への入所 (162)	%
6	自宅等への退院 (163)	%
7	その他 (164)	%
8	転院先等に関するデータは管理していない (165)	

※(割合) = (退院先別の患者数) ÷ (退院支援・調整を行った総患者数) を基本とした概ねの数

※転院先等に関する割合を把握していない場合は「項番8」で「○」を選択してください。

(2) 上記(1)の回答のうち「他の回復期医療機関への転院」の場合、初回の相談から受入れまでの平均待機日数はどの程度ですか。該当する項番に「○」を記入してください。

【回復期リハビリテーション病棟への転院の場合】

項番	選択肢	回答
1	0日～3日 (166)	
2	4日～7日 (167)	
3	8日～14日 (168)	
4	15日以上 (169)	

【回復期リハビリテーション病棟以外の病棟への転院の場合】

項番	選択肢	回答
1	0日～3日 (170)	
2	4日～7日 (171)	
3	8日～14日 (172)	
4	15日以上 (173)	

(3) 心血管疾患治療後、転院先との受入れ調整で受け入れられなかった理由は何ですか。

【調査対象期間（平成29年7月1日～平成30年6月30日）の状況を基にお答えください。】

項番	選択肢	回答
1	転院先医療機関が満床であるため (174)	
2	転院先の病院が遠方であるなどにより、家族との調整が整わないため (175)	
3	医療費支払が困難、単身・独居など社会的な理由があるため (176)	
4	合併症・併存疾患の治療等により、入院から退院までに60日以上を要するため (177)	
5	医学的管理（専門リハ、四肢麻痺等、高価な内服薬、内科疾患）が困難であるため (178)	
6	精神疾患（認知症症状を除く）への対応が困難であるため (179)	
7	認知症症状への対応が困難であるため (180)	
8	病室を性別で区分しており、転院者の性別が病室の空き状況と合致しないため (181)	
9	その他の理由（次の欄に具体的な理由を記載してください） ↓ (182)	
10		

回答内容の目安

- ◎→受け入れられなかった事例の中では最も多い理由である
- 受け入れられなかった事例の中ではよくある理由である
- △→受け入れられなかった事例の中ではまれにある理由である
- ×→当該事項を理由に受け入れられなかったことはない

(4) 心血管疾患治療後の転院先の回復期医療機関に望むことはどのようなことですか。（自由記述）

項番	回答	(183)
1		

(5) 貴院の心血管疾患患者の具体的な回復期の連携先医療機関等について3つまで記載してください。

項番	回答	
1		(184)
2		(185)
3		(186)

埼玉県地域医療構想推進のための病院アンケート調査

「3（1）③急性心筋梗塞や心不全等の心血管疾患への対応」で「回復期」を選択した病院のうち「回復期リハビリテーション病棟」を有する病院にお尋ねします。

7 心血管疾患【回復期】治療の連携状況と課題

（1）貴院の心血管疾患の急性期治療後の患者の転院元の医療機関等の割合※はどの程度ですか。

項番	選択肢	回答
1	圏域内の他の急性期医療機関からの受入れ (187)	%
2	圏域外の他の急性期医療機関からの受入れ (188)	%
3	自院の急性期病棟等からの転棟 (189)	%
4	その他 (190)	%
5	転院元等に関するデータは管理していない (191)	

※（割合）＝（転院元別の患者数）÷（入院支援・調整を行った総患者数）を基本とした概ねの数

※転院元等に関する割合を把握していない場合は「項番5」で「○」を選択してください。

（2）上記（1）の回答のうち「他の急性期医療機関からの受入れ」の場合、初回の相談から受入れまでの平均待機日数はどの程度ですか。該当する項番に「○」を記入してください。

【回復期リハビリテーション病棟への受入れの場合】

項番	選択肢	回答
1	0日～3日 (192)	
2	4日～7日 (193)	
3	8日～14日 (194)	
4	15日以上 (195)	

【回復期リハビリテーション病棟以外の病棟への受入れの場合】

項番	選択肢	回答
1	0日～3日 (196)	
2	4日～7日 (197)	
3	8日～14日 (198)	
4	15日以上 (199)	

(3) 心血管疾患の急性期治療後、転院元との受け入れ調整で受け入れできなかった理由は何ですか。【調査対象期間(平成29年7月1日～平成30年6月30日)の状況を基にお答えください。】

項番	選択肢	回答
1	自院が満床であるため (200)	
2	転院元から自院が遠方であるなどにより、家族との調整が整わないため (201)	
3	医療費支払が困難、単身・独居など社会的な理由があるため (202)	
4	合併症・併存疾患の治療等により、入院から退院までに60日以上を要するため (203)	
5	医学的管理（専門リハ、四肢麻痺等、高価な内服薬、内科疾患）が困難であるため (204)	
6	精神疾患（認知症症状を除く）への対応が困難であるため (205)	
7	認知症症状への対応が困難であるため (206)	
8	病室を性別で区分しており、転院者の性別が病室の空き状況と合致しないため (207)	
9	その他の理由（次の欄に具体的な理由を記載してください） ↓ (208)	
10		

回答内容の目安

- ◎→受け入れできなかった事例の中では最も多い理由である
- 受け入れできなかった事例の中ではよくある理由である
- △→受け入れできなかった事例の中ではまれにある理由である
- ×→当該事項を理由に受け入れできなかったことはない

(4) 心血管疾患治療後の転院元の急性期医療機関に望むことはどのようなことですか。（自由記述）

項番	回答	(209)
1		

(5) 貴院の心血管疾患患者の具体的な急性期の連携先医療機関等について3つまで記載してください。

項番	回答	
1		(210)
2		(211)
3		(212)

埼玉県地域医療構想推進のための病院アンケート調査

「3（1）⑤整形外科治療への対応」で「急性期」を選択した病院にお尋ねします。

8 整形外科【急性期】治療の連携状況と課題

(1) 貴院の整形外科治療後の患者の回復期病院等への転院先の割合※はどの程度ですか。

項番	選択肢	回答
1	圏域内の他回復期医療機関へ転院 (213)	%
2	圏域外の他回復期医療機関へ転院 (214)	%
3	自院の回復期リハビリテーション病棟へ転棟 (215)	%
4	自院の地域包括ケア病棟（病床）へ転棟 (216)	%
5	介護老人保健施設等の介護保険施設への入所 (217)	%
6	自宅等への退院 (218)	%
7	その他 (219)	%
8	転院先等に関するデータは管理していない (220)	

※（割合）＝（退院先別の患者数）÷（退院支援・調整を行った総患者数）を基本とした概ねの数

※転院先等に関する割合を把握していない場合は「項番8」で「○」を選択してください。

(2) 上記（1）の回答のうち「他の回復期医療機関への転院」の場合、初回の相談から受入れまでの平均待機日数はどの程度ですか。該当する項番に「○」を記入してください。

【回復期リハビリテーション病棟への転院の場合】

項番	選択肢	回答
1	0日～3日 (221)	
2	4日～7日 (222)	
3	8日～14日 (223)	
4	15日以上 (224)	

【回復期リハビリテーション病棟以外の病棟への転院の場合】

項番	選択肢	回答
1	0日～3日 (225)	
2	4日～7日 (226)	
3	8日～14日 (227)	
4	15日以上 (228)	

(3) 整形外科治療後、転院先との受入れ調整で受け入れられなかった理由は何ですか。

【調査対象期間（平成29年7月1日～平成30年6月30日）の状況を基にお答えください。】

項番	選択肢	回答
1	転院先医療機関が満床であるため (229)	
2	転院先の病院が遠方であるなどにより、家族との調整が整わないため (230)	
3	医療費支払が困難、単身・独居など社会的な理由があるため (231)	
4	合併症・併存疾患の治療等により、入院から退院までに60日以上を要するため (232)	
5	医学的管理（専門リハ、四肢麻痺等、高価な内服薬、内科疾患）が困難であるため (233)	
6	精神疾患（認知症症状を除く）への対応が困難であるため (234)	
7	認知症症状への対応が困難であるため (235)	
8	病室を性別で区分しており、転院者の性別が病室の空き状況と合致しないため (236)	
9	その他の理由（次の欄に具体的な理由を記載してください） ↓ (237)	
10		

回答内容の目安

- ◎→受け入れられなかった事例の中では最も多い理由である
- 受け入れられなかった事例の中ではよくある理由である
- △→受け入れられなかった事例の中ではまれにある理由である
- ×→当該事項を理由に受け入れられなかったことはない

(4) 整形外科治療後の転院先の回復期医療機関に望むことはどのようなことですか。（自由記述）

項番	回答	(238)
1		

(5) 貴院の整形外科患者の具体的な回復期の連携先医療機関等について3つまで記載してください。

項番	回答	
1		(239)
2		(240)
3		(241)

埼玉県地域医療構想推進のための病院アンケート調査

「3（1）⑤整形外科治療への対応」で「回復期」を選択した病院のうち「回復期リハビリテーション病棟」を有する病院にお尋ねします。

9 整形外科【回復期】治療の連携状況と課題

（1）貴院の整形外科の急性期治療後の患者の転院元の医療機関等の割合※はどの程度ですか。

項番	選択肢	回答
1	圏域内の他の急性期医療機関からの受入れ (242)	%
2	圏域外の他の急性期医療機関からの受入れ (243)	%
3	自院の急性期病棟等からの転棟 (244)	%
4	その他 (245)	%
5	転院元等に関するデータは管理していない (246)	

※（割合）＝（転院元別の患者数）÷（入院支援・調整を行った総患者数）を基本とした概ねの数

※転院元等に関する割合を把握していない場合は「項番5」で「○」を選択してください。

（2）上記（1）の回答のうち「他の急性期医療機関からの受入れ」の場合、初回の相談から受入れまでの平均待機日数はどの程度ですか。該当する項番に「○」を記入してください。

【回復期リハビリテーション病棟への受入れの場合】

項番	選択肢	回答
1	0日～3日 (247)	
2	4日～7日 (248)	
3	8日～14日 (249)	
4	15日以上 (250)	

【回復期リハビリテーション病棟以外の病棟への受入れの場合】

項番	選択肢	回答
1	0日～3日 (251)	
2	4日～7日 (252)	
3	8日～14日 (253)	
4	15日以上 (254)	

(3) 整形外科の急性期治療後、転院元との受け入れ調整で受け入れできなかった理由は何ですか。【調査対象期間(平成29年7月1日～平成30年6月30日)の状況を基にお答えください。】

項番	選択肢	回答
1	自院が満床であるため (255)	
2	転院元から自院が遠方であるなどにより、家族との調整が整わないため (256)	
3	医療費支払が困難、単身・独居など社会的な理由があるため (257)	
4	合併症・併存疾患の治療等により、入院から退院までに60日以上を要するため (258)	
5	医学的管理（専門リハ、四肢麻痺等、高価な内服薬、内科疾患）が困難であるため (259)	
6	精神疾患（認知症症状を除く）への対応が困難であるため (260)	
7	認知症症状への対応が困難であるため (261)	
8	病室を性別で区分しており、転院者の性別が病室の空き状況と合致しないため (262)	
9	その他の理由（次の欄に具体的な理由を記載してください） ↓ (263)	
10		

回答内容の目安

- ◎→受け入れできなかった事例の中では最も多い理由である
- 受け入れできなかった事例の中ではよくある理由である
- △→受け入れできなかった事例の中ではまれにある理由である
- ×→当該事項を理由に受け入れできなかったことはない

(4) 整形外科治療後の転院元の急性期医療機関に望むことはどのようなことですか。（自由記述）

項番	回答	(264)
1		

(5) 貴院の整形外科患者の具体的な急性期の連携先医療機関等について3つまで記載してください。

項番	回答	
1		(265)
2		(266)
3		(267)

埼玉県地域医療構想推進のための病院アンケート調査

「3（1）主要疾患への対応」で選択した機能にかかわらず、「地域包括ケア病棟（病床）」を有する病院にお尋ねします。

10 地域包括ケア病棟（病床）の連携状況と課題

（1）貴院の地域包括ケア病棟（病床）の患者の疾患の割合はどの程度ですか。

項番	選択肢	回答
1	がん (268)	%
2	脳卒中 (269)	%
3	肺炎 (270)	%
4	骨折・外傷 (271)	%
5	その他の理由（割合とともに、下欄に具体的な疾患を記載してください） ↓ (272)	%
6		(273)

※（割合）＝（疾患別の患者数）÷（地域包括ケア病棟（病床）の総患者数）を基本とした概ねの数

（2）貴院の地域包括ケア病棟（病床）の患者の転院元の医療機関等の割合※はどの程度ですか。

項番	選択肢	回答
1	介護老人保健施設等の介護保険施設からの受入れ (274)	%
2	自宅からの受入れ (275)	%
3	圏域内の他の急性期医療機関からの受入れ (276)	%
4	圏域外の他の急性期医療機関からの受入れ (277)	%
5	自院の急性期病棟等からの転棟 (278)	%
6	その他 (279)	%
7	転院元等に関するデータは管理していない (280)	

※（割合）＝（転院元別の患者数）÷（入院支援・調整を行った総患者数）を基本とした概ねの数

※転院元等に関する割合を把握していない場合は「項番7」で「○」を選択してください。

（3）上記（2）の回答のうち「介護老人保健施設等の介護保険施設からの受入れ」及び「自宅からの受入れ」の場合、初回の相談から受入れまでの平均待機日数はどの程度ですか。該当する項番に「○」を記入してください。

項番	選択肢	回答
1	0日～3日 (281)	
2	4日～7日 (282)	
3	8日～14日 (283)	
4	15日以上 (284)	

(4) 上記(2)の回答のうち「他の急性期医療機関からの受入れ」の場合、初回の相談から受入れまでの平均待機日数はどの程度ですか。該当する項番に「○」を記入してください。

項番	選択肢	回答
1	0日～3日 (285)	
2	4日～7日 (286)	
3	8日～14日 (287)	
4	15日以上 (288)	

(5) 地域包括ケア病棟（病床）への受入れ調整で受け入れできなかった理由は何ですか。

【調査対象期間（平成29年7月1日～平成30年6月30日）の状況を基にお答えください。】

項番	選択肢	回答
1	自院が満床であるため (289)	
2	転院元から自院が遠方であるなどにより、家族との調整が整わないため (290)	
3	医療費支払が困難、単身・独居など社会的な理由があるため (291)	
4	合併症・併存疾患の治療等により、入院から退院までに60日以上を要するため (292)	
5	医学的管理（専門リハ、四肢麻痺等、高価な内服薬、内科疾患）が困難であるため (293)	
6	精神疾患（認知症症状を除く）への対応が困難であるため (294)	
7	認知症症状への対応が困難であるため (295)	
8	病室を性別で区分しており、転院者の性別が病室の空き状況と合致しないため (296)	
9	その他の理由（次の欄に具体的な理由を記載してください） ↓ (297)	
10		

回答内容の目安

- ◎→受け入れできなかった事例の中では最も多い理由である
- 受け入れできなかった事例の中ではよくある理由である
- △→受け入れできなかった事例の中ではまれにある理由である
- ×→当該事項を理由に受け入れできなかったことはない

(6) 転院元の医療機関や介護保険施設に望むことはどのようなことですか。（自由記述）

項番	回答	(298)
1		

(7) 貴院の地域包括ケア病棟（病床）の具体的な連携先医療機関、介護保険施設等について3つまで記載してください。

項番	回答	
1		(299)
2		(300)
3		(301)